

(1) 未来羅針盤プロジェクトについて

①【地域医療奥州市モデルプロジェクト】 ～新医療センターの整備について～

(担当：新医療センター建設準備室)

- 新医療センター整備基本計画について、早期に議論が進められるよう中間案を取りまとめ、8月に公表しています。

＜主な内容＞

- ・ 規模は一般病床80床、面積は水沢病院の約半分に
- ・ 整備場所は水沢公園陸上競技場を最適地と判断
- ・ 総合診療科の新設、整形外科領域のリハビリ強化 など

- 9月に中間案の市民説明会を開催しました。賛成意見もありましたが、右記のような厳しい意見も多数いただきました。
- 具体的な意見を引き出せたことは、中間案公表の成果と捉えています。今後、必要な修正をし、シンポジウムの開催や市政懇談会を通じて、なお一層の丁寧な説明に心掛けてまいります。

市民説明会の開催状況

- ・ 9月10日～21日・市内6会場
- ・ 参加者：延べ188人

【主な意見】

- ・ 医師確保や経営等の見通しが甘い
- ・ 旧病院撤去など関連費用も示すべき
- ・ 産科の設置を諦めないでほしい
- ・ 整備場所は結論ありきではないか
- ・ もっと詳細かつ丁寧な説明を望む

②【未来型公共交通プロジェクト】 ～A I オンデマンド等の取り組み～

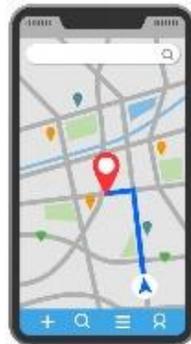
(担当：公共交通対策室)

市地域公共交通計画（第4次バス交通計画）で掲げる“多様な交通手段の連携により、市民の暮らしを支え続ける便利で快適な公共交通ネットワークの構築”に向けて、デジタル技術を活用した利便性の高い公共交通システムの導入を進めています。

事業① A I デマンド交通

前沢地域で運行している「ハートバス」において、A Iによる予約及びルート生成を行うA Iシステムを導入し、令和7年2月からA Iデマンド交通として運行する準備を進めています。

- ・ 従前の電話に加えてアプリ予約（24時間予約）も可能
- ・ アプリで車両の運行状況確認が可能



車両位置確認

事業② 交通系ICカード

市内を運行する路線バス（岩手県交通路線、Zバス、市営バス等）へ交通系ICカード（地域連携ICカード「Iwate Green Pass」のほか「Suica」や相互利用可能な全国交通系ICカード）による決済システムの導入準備を進めています。



地域連携ICカード「Iwate Green Pass」

事業③ デジタルサイネージ

バスロケーションシステム（路線バスのダイヤや運行状況等のお知らせ）を表示するデジタルサイネージを水沢駅・水沢江刺駅・江刺バスセンターの3ヶ所への設置を進めています。（12月設置予定）

③【奥州湖周辺エリアプロジェクト】 ～奥州湖周辺エリア活用整備構想実現に向けた取り組み～

構想実現に向けた取組として、推進体制の構築、拠点施設整備やジャパンエコトラックへの登録準備を進めています。

- 推進体制の構築においては、8月～9月にワークショップ「TNGR（つながる）」のテーマとすることで、市民や企業と連携した企画を多数提言いただきました。また、奥州市の観光資源や特色を熟知したモンベルグループに対し、構想策定から継続する形で推進体制整備に係る支援業務を委託しました。
- アウトドアツーリズムの拠点及びカヌー競技のトレーニングセンターとしての機能強化を目的とした奥州湖交流館の再整備を進めており、5月に改修の実施設計業務を委託しました。
- ジャパンエコトラックの登録を見据え、構想において提案されたモデルルートの検討を行っています。

【下期の主なスケジュール】

時期	内容
～10月	奥州湖交流館実施設計
～11月	河川空間のオープン化社会実験
～12月	ジャパンエコトラックルート等検討
翌2月	推進協議会準備会設立

④【水沢市街地エリアプロジェクト】 ～メイプルの活用について～

メイプルは、令和6年6月にKeeyls株式会社と連携協定及び業務委託契約を締結し、施設の価値を向上させた上で民間譲渡することを目指す**アセットマネジメント(AM)プラン**の作成を進めてきました。

AMプラン案は9月中旬に提出され、現在、有識者を含む審査委員会等で事業の実現性、持続可能性、市の財政負担の妥当性等を検証・精査しています。

これらの調整や関係者との協議等が整いましたら、市民や議会の皆様にAMプランを踏まえたメイプル活用の方向性を示し、事業の具体化に努めていきます。

9月	AMプランの納品・審査
10月	協議・調整
11月	メイプル活用の方向性の公表
12月	議案審議・事業費の予算化
1月	事業着手



⑤【江刺市街地エリアプロジェクト】 ～江刺市街地エリア開発整備構想に向けた取り組み～

江刺市街地エリア開発整備構想策定のため、公募型プロポーザルを実施。その結果、8月26日に株式会社日本総合研究所と契約を締結しました。

主な提案内容

① 4つの業務実施方針

- 方針① 公益性と収益性の達成による地域課題の解決
- 方針② 実現性の高い事業スキームの構築
- 方針③ 様々なステークホルダーとの合意形成支援
- 方針④ 迅速・的確な業務推進

② 開発コンセプト

地域内外から人が集い、多様な文化・経済活動の融合により市及び江刺市街地エリアの持続的発展のための創造交流拠点を目指す。

③市の政策と整合した導入機能の検討

④市民等ヒアリング及び事業者へのサウンディング調査

今後のスケジュール

令和6年度

整備構想の策定（基礎調査、民意徴取、ゾーニング等）

令和7年度

実施計画の策定（マッピング、PFI導入可能性調査等）

令和8年度以降

開発事業者の募集・選定、事業実施等

⑥【小さな拠点づくりプロジェクト】 ～旧伊手小学校活用に向けた取り組み～

小さな拠点づくりプロジェクトは、令和6年5月に伊手地区（伊手農村農業活性化協議会、伊手振興会）と「奥州市小さな拠点づくりモデル事業の実施に関する協定」を締結しました。

6月には、旧伊手小学校を、地区センターと伊手地区活用施設に複合整備する設計業務に着手しました。

伊手地区では今後、地域運営組織を設立し、旧伊手小学校を拠点施設として、地域資源を活かした生業の創出や地域交流の促進に取り組むこととしています。現在、具体的な施設活用に向けた設計内容について市と地域とで打ち合わせを重ねています。

活用に伴う施設改修工事は、令和7年度に着工する予定です。

